

トカシの木

第59号

2018年12月号

発行 (社福) 聖ヨハネ会
高齡福祉部門
広報委員会

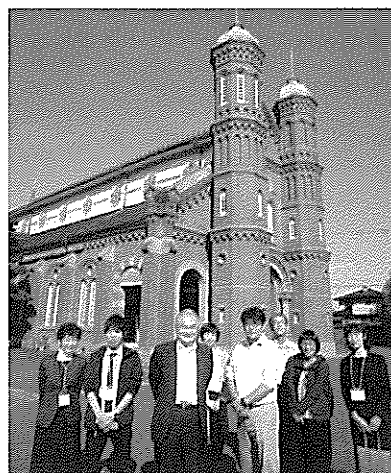
〒184-0005
東京都小金井市桜町1-2-24
電話 042-381-1234
桜町聖ヨハネホーム

日本カトリック老人施設協会福岡全国大会 宮原良治司教様の講話から

ヨハネ会高齡福祉部門 統括施設長 藤井 律治
桜町聖ヨハネホーム園長

10月に福岡で行われた日本カトリック老人施設協会の全国大会で宮原良治司教様の講話を初めて聴きました。実直で誠実な人柄がそのまま、お話に感じとることができました。講話は、『キリスト教の人間観』『老いについての聖書の考え』『高齢者への愛の奉仕』で構成されており、どれもわかりやすい言葉で、信徒でなくとも理解されるものであったように思いました。私が特に印象に残って心に残った部分を記し、皆さんと共有してみたいと思います。

まずキリスト教の人間観では、「神の似姿である人」という原点からお話されて、人のいのちは、決して勝手に産まれたり作られたりするものでない。母親の胎内に宿ったいのちは神様から預かっているいのちです。どのいのちも神の似姿であり、尊いいのちであること…そして天に召されるその時まで尊いいのちであること。いのちは、授(さず)かるものでなく預(あず)かるものと考えてもらいたいこと。授(さず)かるでは、いのちをあたかも貰ったように考えることがあるので、神様から預(あず)かったいのちとして捉えるのが正しいのではないか。神様から預(あず)かるのであれば、いつの日か、そのいのちを神様に返す時が必ずくる…。預(あず)かっただけの日から大切にいのちを生きて、その尊いいのちを神様にお返ししましょう。いのちの誕生のシーンでは、科学や技術では到達ができない多くの神秘が存在している…やはり神様から預(あず)かったいのちです…。そのような要点でした。私は、このお話を聴いてヨハネホーム、そしてヨハネ会高齡福祉部門の職員の勤めは、いのちを神様に返すその時までの時期(完成期)に、直接かわり支援する極めて尊い勤めであることを改めて確信しました。



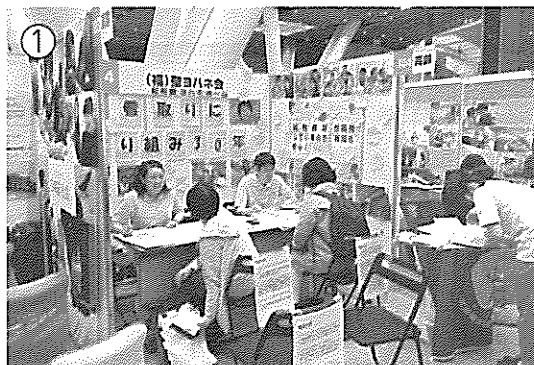
福岡県 カトリック今村教会にて

またこれは、愛の奉仕、隣人愛を実践していることだと司教様からは、全国で今日も日々の地道な仕事に励んでいる活躍している皆さんに感謝のことばがあり、私自身も共感しました

老いるとは、一つ一つ大事にしてきたものを神様にお返ししていくことで、体力、気力、健康、記憶力、視聴覚、所有欲、名誉欲などがあげられるが、これは、執着から解放へのプロセスであるとお話をいただきました。特にこのプロセスは、喪失でなく、解放であると…。私は、ホームご利用者の皆さんもこの時期にあたると思います。そして、本当に解放の時を迎えられているのだと感じます。いのちを預かっただけは、何も無く、また何も出来ない赤ちゃんでしたからすべてを一つずつ返して、最後にこの世でのいのちもお返しした後、永遠の魂をいただき天国でイエス様とともに生きるのだと思います。個人的に最も印象に残ったお話は、イエス様は、弱さを持ち、失敗する者も変わらず愛して下さったお話です。この世にイエス様がなくなった後、弟子たちのリーダー、教会の指導者を、弟子の中から、一番弱く、失敗の連続であったペトロに託されています。ペトロに託されたのは、ペトロが優秀で勇敢で優れたいたわけではなく、ペトロ自身が自分の弱さや失敗を知り、また人の弱さをも知り、苦しい中であっても神様に従い前に進む心を持っていたからだというお話でした。私たちも自らの弱さに気づき認め、神様に従い、前に一步一步進んで行きたいものです。

2018年を振り返って、ヨハネ会高齢福祉部門の取組み！

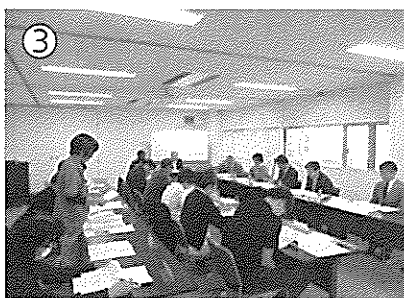
協力と連携の様子



①4月8日 有楽町で行われた『福祉の仕事就職フェア』に介護係より若い介護職員採用チームが参加し多くの方がヨハネ会ブースに来ていただき介護職員採用に繋がりました。



②7月5日 仙台市のカトリック施設暁星園を訪問しました。多床室からユニット型特養に建て替えて在宅から施設まで展開され大きな学びの時となりました。



③11月14日 第三者サービス評価会議を開催。専門家からのご意見を今後のサービス向上に活かしてまいります。

桜町

聖ヨハネ祭



④10月14日 桜町聖ヨハネ祭は、法人事業所、教会、修道会の三者が協力し、ヨハネ会敷地内で大バザー・模擬店・医療相談・イベントを開催しました。収益金は、東日本大震災復興支援と対外協力支援に寄付されました。今年もボランティア・職員・ホーム家族会の多くのご協力をいただきました。



⑤行方不明高齢者探索の体験コーナー『みまもりあいヨハネ祭deかくれんぼ』家族で参加型のイベントで地域の支え合いをお伝えしました。



⑥『食べて東北支援コーナー』多くの献品や地域の皆様のご協力をいただきました。

救急救命講習会



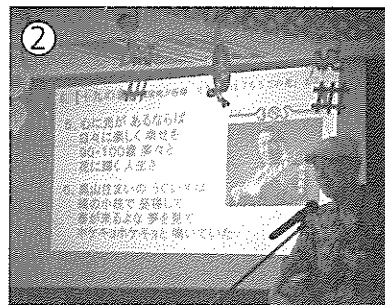
⑦5月31日実施。ヨハネホームでは、緊急時に救急救命に対応できるように毎年、小金井消防署のご協力により講習を受けています。

在宅サービス部の秋の活動・行事をご紹介します。

桜町センター



①桜町の名物イベント「ハッピースマイル」の皆様による恒例の東京音頭です。ご利用者様も参加して下さいました。



②田端義男さんの名曲、19の春を素敵に歌い上げて下さいました。「桜唄会」の皆様イベントで盛り上がりました。



③暑い夏はこれだね!今年もかき氷を美味しくいただきました。お二人はイチゴ味です。

本町センター



①深大寺散策に出かけました。秋晴れのさわやかな日でもとても気持ち良かったです。



②お蕎麦屋さんの水車の前で1枚。「久しぶりに来たわ」「懐かしい!」と喜ばれていました。



③小春日和の穏やかな一日。センター周辺のお散歩に出かけました。



④三鷹にある喫茶店で、ケーキセットを召し上がりました。おしゃべりも弾みます。

色々なところに外出しました!
皆さんとても素敵な笑顔をされていますね。



⑤ゆっくりとお話ができ楽しいひとときを過ごしました。

敬老会

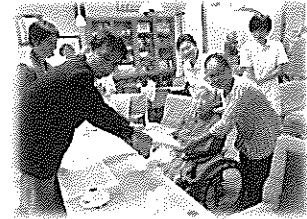
2018年9月17日 敬老の日

敬老会を行いました。
各フロアでご利用者様とご家族と職員で、敬老の日をお祝いしました。
職員による歌のプレゼントがあり、
また皆さんと歌い、心温まる会となりました。



小金井市長の100歳訪問

毎年、敬老の日の近くに、
小金井市長さんがホームに
100歳訪問をしてくださいます。
お祝いを受けて。



音楽サークル発表会

2018年11月3日 文化の日

音楽サークルの発表会を行いました。
日頃の練習の成果をボランティアの方々とご利用者様職員とともに
披露し、皆様楽しそうに一生懸命体を動かし、発表会を楽しみました。
ボランティアさんとホームで永く続く活動です。



ボランティア

生活ボランティア 等々力 貴美子さん

- ①本町センターでのボランティア活動歴
→11年。
- ②本町センターでボランティアを始めたきっかけ
→お姑さんの介護をしていた時に色々な方にお世話になり、
今度は自分が少しでもお手伝いできればと思ったからです。
- ③等々力さんにとってボランティア活動とは？
→人とお話することが好きなので、本町センターでの
ボランティア活動が楽しみで張り合っています。



今後の予定

桜町聖ヨハネホーム

- 12/21(金) 教会祭儀
(クリスマス)
- 12/24(月) クリスマス会
- 1/1(祝) 元旦 獅子舞



桜町センター

- 12/19(水)~25(火)
クリスマス週間
- 1/4(金) 新年会行事
- 2/2(土) 節分行事



本町センター

- 12/19(水)~25(火)
クリスマス週間
- 1/4(金) 新年会
- 1/14(月) 映画鑑賞会
- 2/26(火) しんあい保育園来所

【編集後記】

2018年、「かしの木」の刊行が上半期に出来ませんでした事をお詫び申し上げます。
猛暑や台風、地震など、自然が猛威を振るった今年でしたが、米る2019年が、高齢者の皆様がお元気で、地球星にとって温かく充実した1年になりますように。
感謝をこめて…。(Y)